

石巻専大の力、社会に貢献

石巻専修大学特集

石巻専修大学「ホームページ」 <http://www.isenshu-u.ac.jp>

代表電話番号

0225
(22)7711

石巻専修大学は1989年(平成元)に開学。理工学部4学科、経営学部1学科からなり、宮城県石巻市で、地域はもとより国際社会の発展に寄与できる高度な専門知識と豊かな教養を身につけた有為な人材を多く育てている。今回の東日本大震災では、キャンパスにほとんど被害がなく、現在は学生たちも震災前と変わらず、研究やサークル活動に励んでいる。今後の取り組みや学生への支援策を坂田隆学長に、両学部の学びの特徴を両学部長に語っていただいた。



坂田 隆学長

石巻専修大学は、今年、開学23年目を迎えました。「社会に対する報恩奉仕」を建学の精神としていますが、今回の震災で、報恩奉仕の精神を实践できたと思っております。

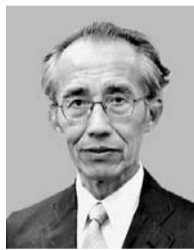
立地と頑強な建物のおかげでキャンパスは冠水を免れ、目立った損壊はありませんでした。キャンパスに避難してきた方々を受け入れ、避難所として場所を提供し、学内には災害ボランティアセンターの拠点が設置されました。当日学校に残っていた学生たちは、被災者であるにもかかわらず、ヘリでキャンパスに運び込まれる被災者救済に飛び出していきました。本学は、21世紀ビジョンとして「社会知性の開発」を掲げていますが、

困難を共に乗り越えた学生に手厚い支援を

社会知性で最も大切なのは「初めて出会うこと、習ったことがないことに今までの蓄積を生かす」、適切に対処できる力を養うこと。その力をどう養っていくかは難しいことです。今回の震災を経験して改めて分かったのは、実際に「やってみる」ということの重要性です。震災当日、現場にいた教職員が学長の指示を待たず、適切な対応をしたおかげで、学内の事故は一切ありませんでした。起りませんでしたし、避難者の方々に対しては、快適な避難所を提供することができました。これは、本学が目標として掲げる「実践的な教育」を裏付けてみせたという事です。教員は、机上の理論だけではなく、いざというときにどう動くかを、身をもって示すことができました。そういった教員に教育を受けられるのは非常に貴重な事です。

震災後、被災地に根を張る大学にしかできないことをやろうと「復興共創生プロジェクト」を立ち上げました。被災地域の防災と復興にかかわる事業を行い、その中に学生の活動を組み入れようとした学生にこそ、高等教育を全うし、社会に出て活躍する人材に育ってほしいと願っています。学生の住居については、アパートの補修工事が早く進み、5月20日の授業再開に間に合いました。多くの学生が住んでいる開北、中里区域もめざましい回復を遂げています。交通については、仙石線の完全復旧にまだ時間がかかりますが、改善の方向にあります。距離通学の学生のために設置している「自宅通学支援バス」が、思わぬところでセーフティネットになりました。受験生ならびに保護者の皆様には本学の素晴らしい勉強環境をご理解いただき、将来の夢を実現してください。

丸岡 章 理工学部長



未曾有の大震災で新学期のスタートは2カ月近く遅れましたが、幸い本学は施設や設備に殆ど損傷がありませんでした。入学時から4年間の授業で、通常の夏休みを返上し、料・施設費相当額を免除する被災者支援の入学試験を実施しています。

学生一人ひとりを大切に

「自宅通学支援バス」が、思わぬところでセーフティネットになりました。受験生ならびに保護者の皆様には本学の素晴らしい勉強環境をご理解いただき、将来の夢を実現してください。



▲ 教員が学生と一緒に演習や実験に取り組む

とって大きなインセンティブとなり、育の現場に身を置き、日頃感じることは学生は未知のものを知りたいという欲求を本来もっているという

充実した奨学金制度

本学では、多数の奨学金制度を用意し、学業に専念できる環境を整えている。特に2012年度は東日本大震災に伴う修学支援を実施する。家屋の被害に心じて2年間給付される「家屋被害支援」と「家計急変支援」により、被災した学生の修学支援を行う。(別表参照) また、返還の必要がなく、他の奨学金制度とも併用可能な本学独自の奨学金制度としては次のものがある。

「被災者支援スカラシップ入学試験」を実施

本学への入学を希望する被災者を対象とした新たな入学試験制度として、4年間の授業料および施設費相当額を免除する「被災者支援スカラシップ入学試験」を実施する。全学部・全学科で実施され、募集人員は10人程度。志望理由書や小論文、面接などから総合的に評価し合否判定を行う。

相良 勝利 経営学部長



経営学部では、1年次に基礎ゼミナールを実施し、大学生の活の送り方を学びます。プログラムにはキャリアガイダンスも組み込まれており、初年度から就職に対する意識も養います。

ゼミナール重視のカリキュラム

2年次のゼミナールIで専門科目の基礎を、3年次のゼミナールIIで専門科目を学び、4年次で卒業研究を行います。こうしたゼミナール重視のカリキュラムは、社会に出ていろいろな問題にぶ



▲ 高度専門ゼミナールを充実

躍しており、開設し、税理士と国内旅行業界の資格取得を目指す学生をサポートします。また、今年度から資格取得を目指す学生のために、高度専門ゼミナールを充実させ、後継者育成のための高度専門ゼミナールと情報関連の国家資格取得を目指す高度専門ゼミナールを開講を予定しており、現在その準備を進めているところで

から簿記を必修科目とし試験科目免除制度も視野に入れた。税理士の資格取得にも、1年次中には日商簿記3級試験に合格できるようなカリキュラムを組んでいます。また、今年度から資格取得を目指す学生のために、高度専門ゼミナールを